

2026年4月2日  
株式会社日本政策金融公庫

**担い手農業者の約4割が親族内承継の意向**  
**～ 事業承継における課題は経営ノウハウ、生産技術の承継が約6割で最大 ～**  
＜農業景況調査（令和8年1月調査）特別調査：事業承継について＞

日本政策金融公庫農林水産事業は、融資先の担い手農業者を対象に「農業景況調査（令和8年1月調査）」を実施し、特別調査として「事業承継」をテーマに、「今後の事業承継の意向」や「課題」などについて調査しました。

調査結果のポイントは以下のとおりです。

**＜今後の事業承継の意向＞**

- 回答先全体では、後継者候補がいる経営体の承継先のうち「親族へ承継」（40.3%）の割合が最も高く、次いで「親族以外の役員・従業員等へ承継」（5.6%）、「現経営外の第三者へ承継」（2.1%）となりました。
- 業種別かつ個人・法人別では、稲作の法人経営で「親族以外の役員・従業員等へ承継」が約2割となりました（北海道：18.3%、都府県：20.2%）。

**＜事業承継における課題＞**

- 回答先全体では、「経営ノウハウ、生産技術の承継」（59.6%）の割合が最も高く、次いで「事業の将来性が不安」（46.7%）、「贈与税や相続税への対応」（23.8%）となりました。
- 個人・法人別では、個人経営は法人経営に比べて「事業の将来性が不安」の割合が高くなりました（個人：53.0%、法人：37.6%）。一方で、法人経営は個人経営に比べて「経営ノウハウ、生産技術の承継」の割合が高くなりました（個人：55.8%、法人：65.1%）。

**＜周囲の農業者などから事業の引き継ぎを打診された場合の意向＞**

- 回答先全体では、「積極的に検討する」（18.3%）、「条件が良ければ検討する」（43.2%）を合わせると6割超となりました。

**＜事業を引き受ける際の課題＞**

- 回答先全体では、「人手が確保できない」（61.6%）の割合が最も高く、次いで「事業成長につながるか不安」（39.2%）、「資金調達が困難」（24.7%）となりました。
- 個人・法人別では、個人経営は法人経営に比べて「資金調達が困難」の割合が高くなりました（個人：27.4%、法人：20.8%）。

■詳細は、添付のレポートをご参照ください。

# 農業景況調査（令和8年1月）

## ～特別調査：事業承継について～

### ～目次～

1	今後の事業承継の意向・・・・・・・・・・・・・・・・	P3～5
2	事業承継における課題・・・・・・・・・・・・・・・・	P6～7
3	周囲の農業者などから事業の引き継ぎを 打診された場合の意向・・・・・・・・・・・・・・・・	P8～9
4	事業を引き受ける際に課題だと感じること・・・・・・・・	P10～11

## ○調査概要

- 調査時期：令和8年1月
- 調査方法：往復はがきによる郵送アンケート及びインターネット併用調査
- 調査対象：スーパーL資金又は農業改良資金等のご融資先のうち20,271先
- 有効回答数：6,606先（回収率32.6%）

（内訳）

稲作（北海道）：656、稲作（都府県）：1,711、畑作：643、露地野菜：681、  
施設野菜：602、茶：100、果樹：371、施設花き：167、きのこ：53、  
酪農（北海道）：262、酪農（都府県）：223、肉用牛：425、養豚：177、  
採卵鶏：120、ブロイラー：85、その他：330

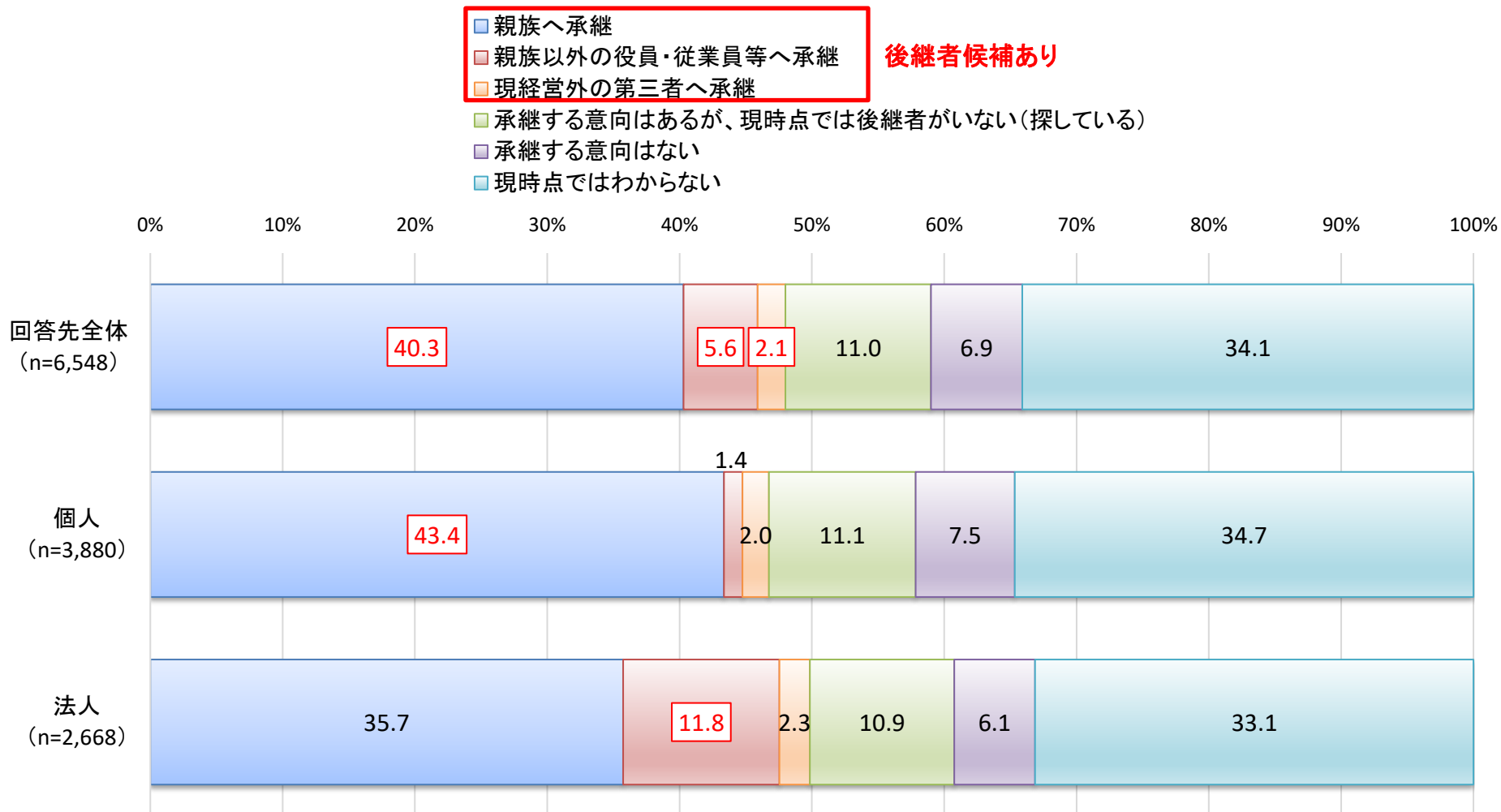
※グラフに表示している構成比は小数点第2位以下を四捨五入しているため、各種合計値が合わない、または100にならないことがある。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部（担当：大王、垣尾）TEL：03-3270-5585  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

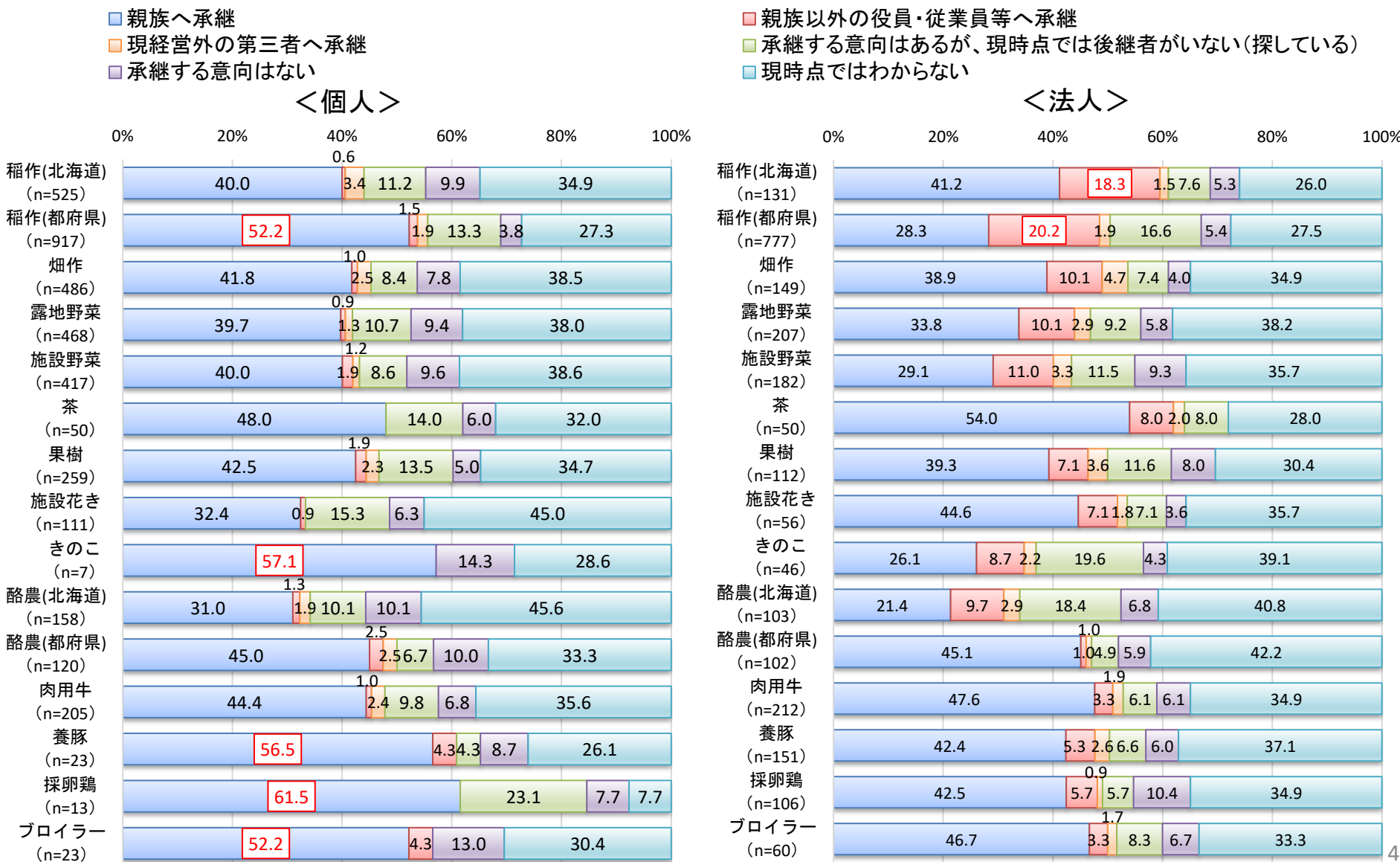
# 1. 今後の事業承継の意向(回答先全体、個人・法人別)

- ・今後の事業承継の意向について、回答先全体では、後継者候補がいる経営体の承継先のうち「親族へ承継」(40.3%)の割合が最も高く、次いで「親族以外の役員・従業員等へ承継」(5.6%)、「現経営外の第三者へ承継」(2.1%)となった。
- ・個人・法人別にみると、「親族へ承継」は個人経営で高く(個人:43.4%、法人:35.7%)、「親族以外の役員・従業員等へ承継」は法人経営で高くなった(個人:1.4%、法人:11.8%)。



# 1. 今後の事業承継の意向(業種別)

- ・業種別にみると、個人経営では、採卵鶏(61.5%)やきのこ(57.1%)、養豚(56.5%)、稲作(都府県:52.2%)、ブロイラー(52.2%)などで「親族へ承継」が5割超となった。
- ・法人経営では、稲作で「親族以外の役員・従業員等へ承継」が約2割となった(北海道:18.3%、都府県:20.2%)。



# 【参考】今後の事業承継の意向（前回調査との比較）

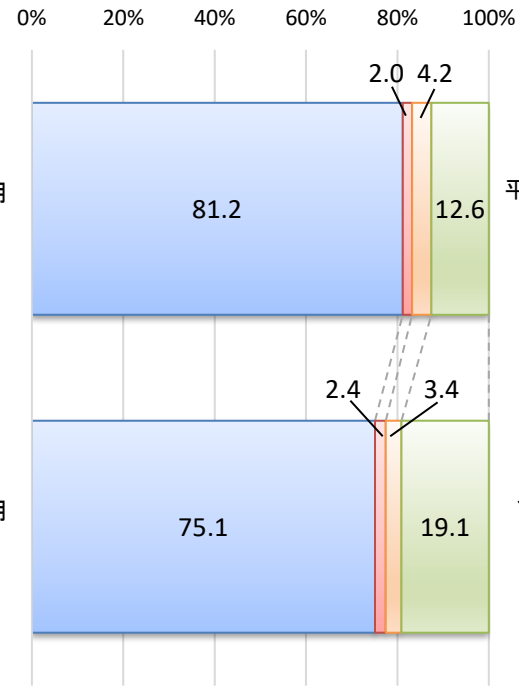
・前回調査（平成30年7月）と比較（※）すると、回答先全体では、「親族へ承継」の割合は7.7ポイント減少した（75.9%→68.2%）。

- 親族へ承継
- 親族以外の役員・従業員等へ承継
- 現経営外の第三者へ承継
- 承継する意向はあるが、現時点では後継者がいない（探している）

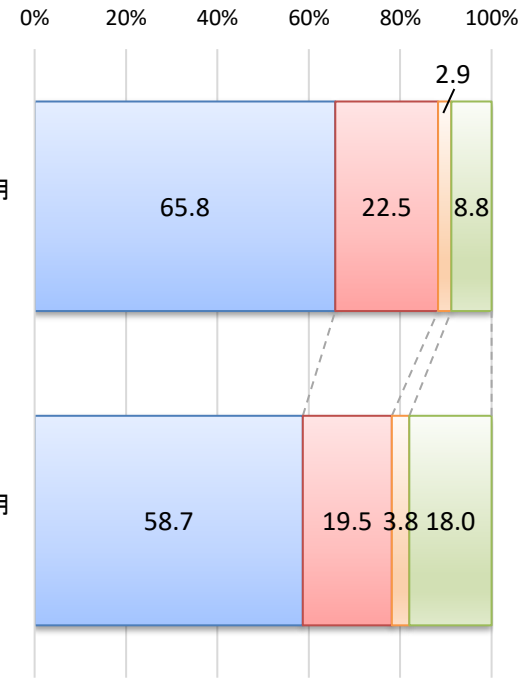
<回答先全体>



<個人>



<法人>



※令和8年、平成30年ともに、事業承継の意向がある者のみを比較。  
平成30年調査（右記HP参照）とは設問や選択肢が完全には一致しないため、参考比較である。

「事業承継に関する調査結果」（平成30年7月）  
[https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/topics\\_181031b.pdf](https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/topics_181031b.pdf)

## 2.事業承継における課題(回答先全体、個人・法人別、後継者候補の属性別)

- ・事業承継における課題について、回答先全体では、「経営ノウハウ、生産技術の承継」(59.6%)の割合が最も高く、次いで「事業の将来性が不安」(46.7%)、「贈与税や相続税への対応」(23.8%)となった。
- ・個人・法人別にみると、個人経営は法人経営に比べて「事業の将来性が不安」の割合が高くなった(個人:53.0%、法人:37.6%)。一方で、法人経営は個人経営に比べて「経営ノウハウ、生産技術の承継」の割合が高くなった(個人:55.8%、法人:65.1%)。
- ・後継者候補の属性別にみると、いずれも「経営ノウハウ、生産技術の承継」が最も高くなった。次いで、「親族へ承継」、「親族以外の役員・従業員等へ承継」を選んだ経営体では、「事業の将来性が不安」が高く、「現経営外の第三者へ承継」を選んだ経営体では、「承継者の買取資金の確保」の割合が高くなった。

### <回答先全体、個人・法人>

【複数選択、%】

	経営ノウハウ、 生産技術の承継	事業の将来性が 不安	贈与税や相続税 への対応	借入金の担保保 証への対応	承継者の買取資 金の確保	関係者(親族・従 業員等)の理解が 得られない	承継者との間で 資産評価に相違 がある	その他
回答先全体 (n=6,254)	59.6	46.7	23.8	17.5	12.7	5.0	3.9	7.2
個人 (n=3,706)	55.8	53.0	24.7	17.5	12.8	5.3	4.2	7.2
法人 (n=2,548)	65.1	37.6	22.4	17.4	12.6	4.5	3.5	7.3

### <後継者候補の属性別>

【複数選択、%】

	経営ノウハウ、 生産技術の承継	事業の将来性が 不安	贈与税や相続税 への対応	借入金の担保保 証への対応	承継者の買取資 金の確保	関係者(親族・従 業員等)の理解が 得られない	承継者との間で 資産評価に相違 がある	その他
親族へ承継 (n=2,570)	66.5	44.6	31.9	19.4	8.4	1.9	1.5	6.4
親族以外の役員・従業員等へ承 継 (n=360)	73.1	33.6	10.8	23.1	14.4	3.1	3.3	7.8
現経営外の第三者へ承継 (n=135)	39.3	24.4	22.2	20.7	37.8	5.2	14.1	11.1

## 2.事業承継における課題(業種別)

・業種別にみると、畑作、施設花きを除く全ての業種で、「経営ノウハウ、生産技術の承継」の割合が最も高くなった。畑作、施設花きでは「事業の将来性が不安」が最も高くなった。

【複数選択、%】

	経営ノウハウ、 生産技術の承継	事業の将来性が 不安	贈与税や相続税 への対応	借入金の担保保 証への対応	承継者の買取資 金の確保	関係者(親族・従 業員等)の理解 が得られない	承継者との間で 資産評価に相違 がある	その他
稲作(北海道) (n=631)	61.6	53.4	29.0	16.6	15.7	5.1	4.4	5.9
稲作(都府県) (n=1,633)	64.1	48.7	19.4	16.0	8.8	6.4	3.0	8.9
畑作 (n=608)	54.4	58.2	27.6	23.4	16.1	3.9	4.6	5.6
露地野菜 (n=644)	57.8	48.3	22.0	17.2	15.8	5.1	5.4	6.2
施設野菜 (n=565)	63.2	43.9	18.4	16.3	11.7	5.8	4.1	6.2
茶 (n=95)	60.0	37.9	32.6	13.7	8.4	3.2	3.2	4.2
果樹 (n=351)	65.5	37.6	18.8	16.0	13.1	5.1	3.4	8.3
施設花き (n=162)	54.3	54.9	15.4	24.1	13.0	3.1	3.7	7.4
きのこ (n=47)	63.8	48.9	17.0	14.9	8.5	4.3	0.0	10.6
酪農(北海道) (n=249)	53.4	43.0	34.5	18.9	20.9	4.8	8.0	9.2
酪農(都府県) (n=210)	51.9	50.5	35.7	15.2	11.9	3.3	2.9	4.8
肉用牛 (n=404)	45.0	42.3	32.7	18.3	14.1	3.7	2.5	9.2
養豚 (n=170)	55.9	31.8	28.2	18.8	16.5	3.5	4.1	6.5
採卵鶏 (n=105)	61.9	30.5	23.8	15.2	10.5	4.8	1.9	4.8
ブロイラー (n=77)	54.5	36.4	23.4	13.0	11.7	2.6	3.9	6.5

※各業種、最上位を赤字で表記。

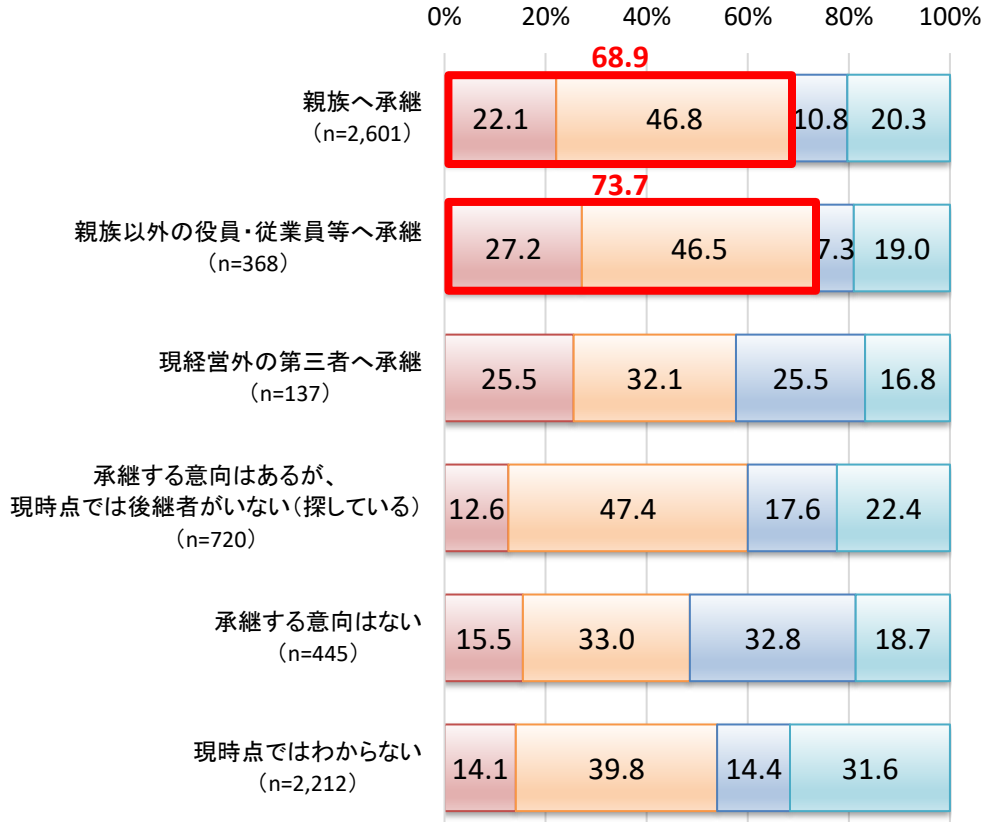
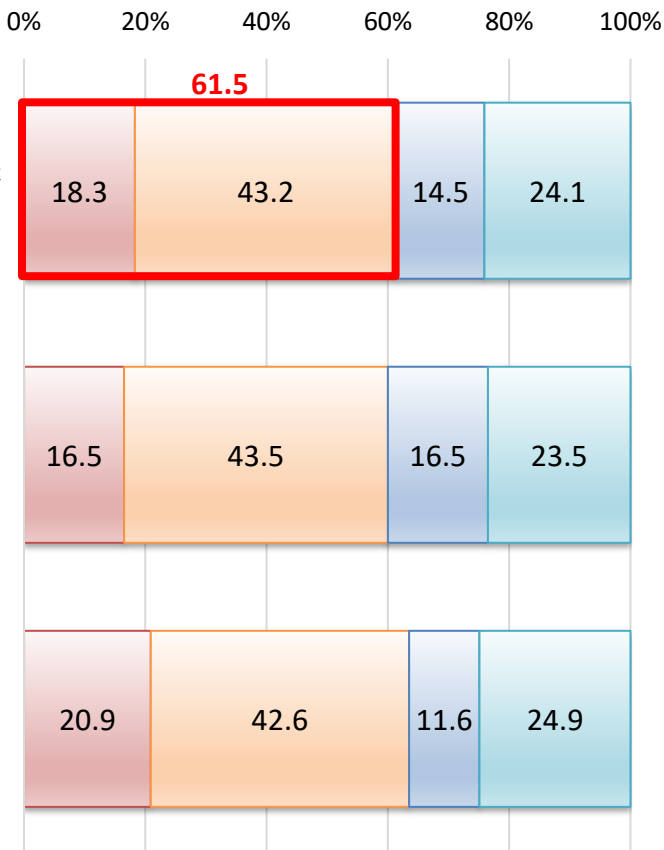
### 3. 周囲の農業者などから事業の引き継ぎを打診された場合の意向 (回答先全体、個人・法人別、今後の事業承継の意向別)

- ・周囲の農業者などから事業の引き継ぎを打診された場合の意向について、回答先全体では、「積極的に検討する」(18.3%)、「条件が良ければ検討する」(43.2%)を合わせると6割超となった。
- ・今後の事業承継の意向別にみると、「親族へ承継」、「親族以外の役員・従業員等への承継」を選んだ経営体では、他の場合と比べて「積極的に検討する」、「条件が良ければ検討する」の割合が高くなった。

■ 積極的に検討する  
 ■ 条件が良ければ検討する  
 ■ 断る  
 ■ 現時点ではわからない

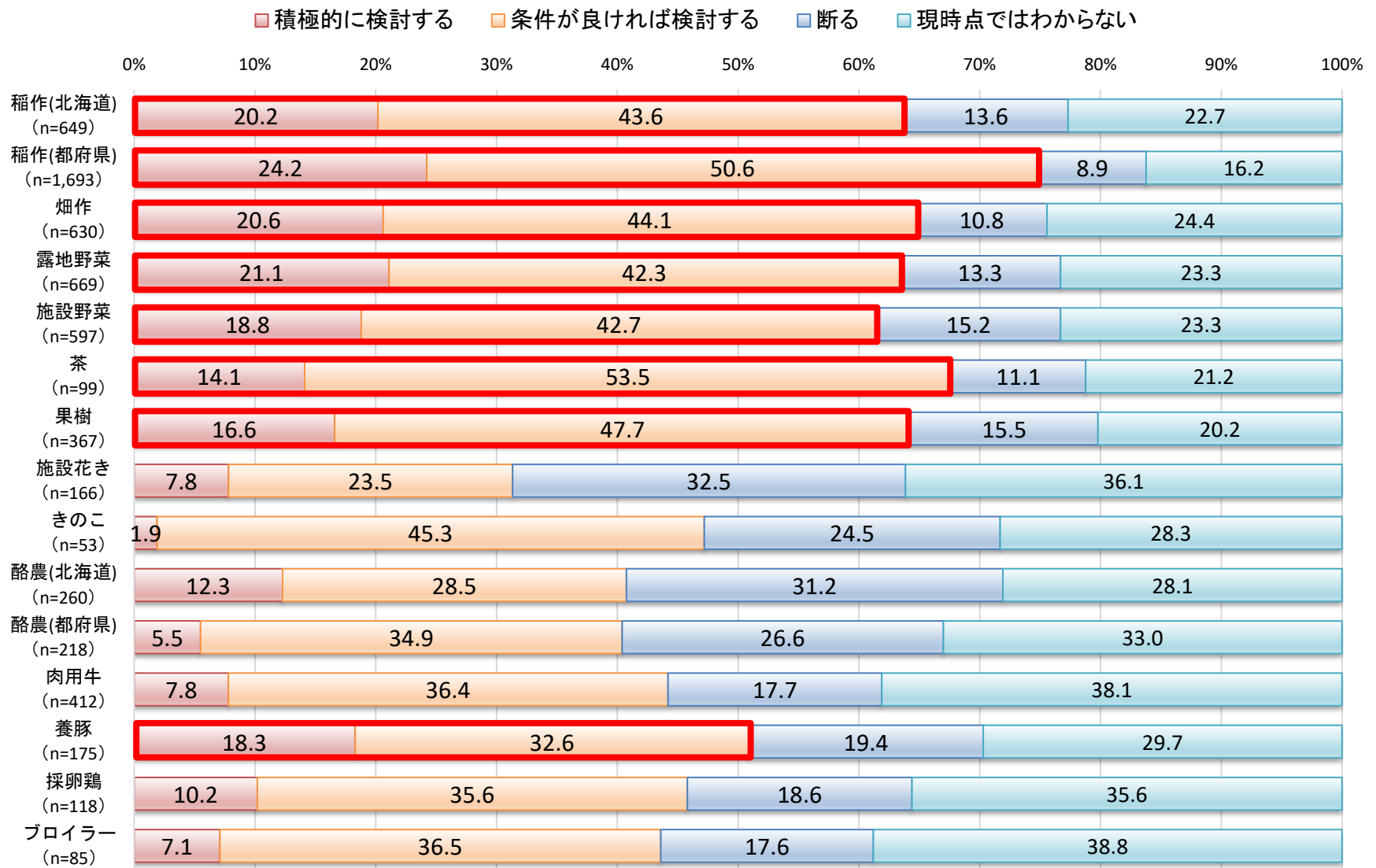
<回答先全体、個人・法人>

<今後の事業承継の意向別>



### 3. 周囲の農業者などから事業の引き継ぎを打診された場合の意向（業種別）

・業種別にみると、耕種では、施設花き、きのこ以外の業種で「積極的に検討する」、「条件が良ければ検討する」を合わせると6割超となり、畜産では養豚で5割超となった。



#### 4. 事業を引き受ける際に課題と感ずること

(回答先全体、個人・法人別、周囲の農業者などから事業の引き継ぎを打診された場合の意向別)

- ・事業を引き受ける際に課題と感ずることは、回答先全体では、「人手が確保できない」(61.6%)の割合が最も高く、次いで「事業成長につながるか不安」(39.2%)、「資金調達が困難」(24.7%)となった。
- ・個人・法人別にみると、個人経営は法人経営に比べて「資金調達が困難」の割合が高くなった(個人:27.4%、法人:20.8%)。
- ・周囲の農業者などから事業の引き継ぎを打診された場合の意向別にみると、いずれも「人手が確保できない」の割合が最も高くなった。

<回答先全体、個人・法人>

【複数選択、%】

	人手が確保できない	事業成長につながるか不安	資金調達が困難	手続きに労力や時間がかかる	販路の確保に懸念がある	その他
回答先全体 (n=5,390)	61.6	39.2	24.7	18.5	8.7	8.2
個人 (n=3,244)	60.7	39.3	27.4	18.4	8.8	8.0
法人 (n=2,146)	63.0	38.9	20.8	18.5	8.5	8.6

<周囲の農業者などから事業の引き継ぎを打診された場合の意向別>

【複数選択、%】

	人手が確保できない	事業成長につながるか不安	資金調達が困難	手続きに労力や時間がかかる	販路の確保に懸念がある	その他
積極的に検討する (n=735)	50.6	34.4	31.0	21.8	10.3	9.1
条件が良ければ検討する (n=2,355)	61.7	42.2	24.6	19.7	8.7	6.6
断る (n=876)	65.1	34.4	21.5	13.9	7.4	13.8
現時点ではわからない (n=1,403)	65.2	39.6	23.7	17.2	8.3	6.8

#### 4. 事業を引き受ける際に課題と感ずること(業種別)

- ・業種別にみると、畑作以外の全ての業種で、「人手が確保できない」の割合が最も高くなった。畑作では、「事業成長につながるか不安」の割合が最も高くなった。
- ・酪農、採卵鶏、ブロイラーでは、「手続きに労力や時間がかかる」が他業種と比べて高くなった。

【複数選択、%】

	人手が確保できない	事業成長につながるか不安	資金調達が困難	手続きに労力や時間がかかる	販路の確保に懸念がある	その他
稲作(北海道) (n=552)	69.2	38.0	21.4	16.1	5.4	6.9
稲作(都府県) (n=1,388)	70.3	35.7	14.3	18.2	7.8	9.8
畑作 (n=520)	47.5	49.2	39.0	17.1	6.7	8.3
露地野菜 (n=554)	55.8	42.4	28.9	17.7	12.5	5.2
施設野菜 (n=487)	52.8	40.7	29.6	18.7	10.5	9.2
茶 (n=83)	62.7	44.6	6.0	16.9	10.8	3.6
果樹 (n=317)	68.5	32.5	23.0	16.7	12.6	8.5
施設花き (n=146)	50.0	47.9	30.1	19.2	15.1	8.2
きのこ (n=45)	71.1	40.0	20.0	11.1	13.3	4.4
酪農(北海道) (n=216)	65.7	33.3	37.5	27.3	3.7	7.4
酪農(都府県) (n=188)	66.5	41.5	28.2	20.7	5.3	5.9
肉用牛 (n=337)	55.8	34.7	35.6	18.7	6.8	10.1
養豚 (n=144)	54.2	45.1	27.8	18.1	10.4	6.3
採卵鶏 (n=92)	62.0	35.9	15.2	25.0	17.4	8.7
ブロイラー (n=70)	58.6	35.7	27.1	20.0	8.6	8.6

※各業種、最上位を赤字で表記。